

製品名: 伸長因子 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00252**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび 50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 95 kDa; Observed MW: 95 kDa

抗原情報

遺伝子名	EEF2
別名	EEF2; EF2; Elongation factor 2; EF-2
遺伝子 ID	1938
SwissProt ID	P13639
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

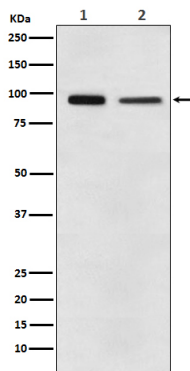
翻訳伸長過程における GTP 依存性リソーム転座段階を触媒する。この段階では、新たに形成された A 部位に結合したペプチジル

tRNA と P 部位に結合した脱アシル化 tRNA がそれぞれ P 部位と E 部位へ移動することで、リボソームは転座前 (PRE) 状態から転座後 (POST) 状態へと変化する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



(1) A431 溶解物、(2) NIH/3T3 溶解物中の EEF2 のウェスタンブロット分析 (伸長因子 2 抗体を使用)。